



ひとみらいプレイス

NEWS

Vol.9

北九州ひとみらいプレイス
2021年
2月発行

「黒崎地域のにぎわい創出」を目指し、北九州ひとみらいプレイスが「ひとみらい交流ウィーク」を開催して今年で8年目を迎えた2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、世界中で多くのイベントが中止や延期を余儀なくされました。

ひとみらい交流ウィーク事業も例外ではなく、一時は開催自体も危ぶまれましたが、十分な感染防止対策を取ることができないものを中止にしたり、規模を縮小したりするなどの対策を講じ、新しい生活様式のもと、事業を無事開催することができました。

今後しばらくはこうした状況が続くと思われますが、北九州ひとみらいプレイス各施設で連携し、「人づくり」と「にぎわいづくり」のための事業を実施します。

人づくり講演会

八幡西生涯学習総合センター

令和2年11月15日(日)

本市小倉南区出身で、テレビの報道番組等でも活躍されている毎日新聞論説委員の元村有希子氏を講師としてお招きし、「生きていく知恵と力」と題し、科学ジャーナリストの視点でのコロナ禍を乗り切るための工夫などを交えつつ講演をしていただきました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、会場の定員を通常の半数にすることとなりましたが、一人でも多くの方に聴講いただけるよう、メイン会場と、その映像と音声を流すことにより聴講する「サテライト会場」を設け開催し、非常にタイミングの良い講演内容となりました。



NPO・市民講演会

市民活動サポートセンター

令和2年11月14日(土)

11月14日に開催された「NPO・市民講演会」では、北九州市を拠点に、困窮孤立者の生活再建を包括的に支援している、認定特定非営利活動法人「抱樸」の奥田知志理事長にご講演いただき、コロナ禍で危惧することや、法人の活動に影響を与えたエピソードについてお話しいただきました。



また、全世代対象の総合的な福祉拠点をめざす「希望のまちプロジェクト」のお話では、子どもや若者、高齢者、生活困窮者、障がい者など、すべての人に「居場所と出番」がある「ひとりも取り残されないまち」をつくるため、救護施設を中心とした「断らない支援」を行う体制を構築していくなど、プロジェクトの概要について説明いただきました。

奥田 知志 氏



【北九州国際交流協会】

外国人市民向け日本語教育「ママとパパのための日本語教室」は4月に休止、5月末にZoomによるオンライン方式で再開し、8月からは対面とZoomの併用による「ハイブリッド方式」で実施しています。対面とZoomの参加者が共に満足できるようなプログラムを心掛けています。



「ママとパパのための日本語教室」

Zoomで参加の方もいっしょに！



最優秀賞に輝いたネパール出身の留学生

【子どもの館】

臨時休館解除後は、子どもの館利用者のみの入館に限定して、総入れ替えの2部制、定員制、事前予約制にて再開しました（現在は定員制のみ）。また、入館時には必ず検温、手指消毒、2歳以上のマスク着用のお願い、入館者記録記入などの対策を徹底しました。館内にも各場所に手指消毒液の設置、遊ぶコーナーや休憩スペースにはアクリル板、プラ段ボール板、ビニールカーテンなどの仕切りを行い、窓や出入り口のドアを開放して常に換気を行っています。

職員もこまめに遊具や玩具、各機器の消毒をし、自らも手指消毒とマスク着用、接客時にはフェイスシールドを着用して対応しています。イベントや子育て支援事業は感染防止が可能なものから参加者数を半数程度に減らすなどして徐々に再開しています。



ハリー★とたまちゃん♪のあそびうた

また、「留学生日本語弁論大会」は無観客で開催し、出場者と付添いの方1名および審査員等関係者のみで開催しました。飛沫防止板やフェイスシールドなどの感染防止策を講じながら、その様子をYouTubeでライブ配信しました。これにより母国にいる家族や友人にスピーチする姿を届けることもできる大会となりました。



ものづくりワークショップ
「小倉織ストラップ作り」

【西部障害者福祉会館】

毎年ひとみらい交流ウィーク期間中に開催している、障害のある方・ボランティアの方の活動発表と市民との交流を目的とした、ふれあいの文化祭【でいい・ゆめ広場】は、ダンスや舞踊のステージ、体験コーナーやバザー等で、不特定多数の方が来館されるため感染症拡大防止のため中止し、障害のある人ない人が共に学ぶ事前申し込み制のワークショップを開催しました。

障害のある方の社会参加を目的とした会館講座では、新しい生活様式に合わせオンライン講座を導入しました。講師は全国からオンラインで繋ぎ、障害により今まで会館に来ることが難しく受講できなかった方も、ご自宅やご自分の好きな場所から気軽に参加出来るようになりました。



オンライン講座

「みんなで楽しく医療を学ぼう！感染症について」

【八幡西生涯学習総合センター】

音楽のある街づくりを目標に本市が後援している「北九州 JAZZ BOSSA-NOVA CLUB」のミニコンサートは、毎月第2土曜日の正午から1時間、マーメイド広場で開催していましたが、今年は、新型コロナウイルスの影響で、3月から6月まで休止していました。しかし感染者数が落ちていた7月から、演奏者と観客の間に飛沫防止の透明シートを設置し再開しました。

同じく後援事業で八幡西生涯学習総センターのボランティアグループ「学びサポーター」による「クリスマスコンサート」も、演奏者と客席の距離を取るなどのコロナ対策を講じて、プロの演奏を生で聴き、ひと足早いクリスマスを楽しんでいただきました。



【ユースステーション】

コロナ禍ということで、多くの事業が中止や延期を行った中、「ユースの文化祭～みんなを笑顔に！～」、日本の文化にふれよう「ミニ門松づくり」等を実施しました。

参加者は、マスクの着用、検温、手指の消毒を行い、ソーシャルディスタンスに努めました。特に文化祭では、1回50分、50人までの完全入替制で10分間の所内消毒時間を設け、来所控票を配布しました。

他の事業も道具の貸し借りを禁止し、利用後の消毒に努め、通常募集人数の半分で実施しました。所員も対応する際、検温、手指の消毒、マスク・フェイスシールド・手袋の着用で臨みました。



ハーバリウム作り



ユースの文化祭～みんなを笑顔に！～



日本の文化にふれよう
「ミニ門松づくり」

気ままにセミナー

八幡西生涯学習総合センター

働く現役世代を主な対象とした「気ままにセミナー」は、昨年6月と7月に予定されていた「歴史夜話 史実・明智光秀と本能寺の変」と「私たちだけの“本音トーク”」を延期して交流ウィークの期間中の11月に開催しました。



歴史夜話



私たちだけの“本音トーク”



オンライン会議をはじめてみよう！

またコロナ禍で注目された“オンライン会議”等のための初心者向け講座や、マスク着用による肌トラブルとオンラインでの見映え向上を目的とした“withコロナ時代”的実践的なセミナーを行いました。

コロナ対策として、検温や手指消毒はもちろん、会場を通常定員90名の大会議室で30名程度を定員としつつ、演台前には飛沫拡散防止のためのパーティションを設置しました。

ひとみらいプレイス

「北九州ひとみらいプレイス」は、平成25年コムシティの再オープンと同時に設置された11のづくり支援施設が連携し、「未来をひらく人づくり」を目指す複合施設です。

北九州市基本構想・基本計画「元気発信！北九州」プランの基本方針のひとつである「人づくり支援」を推進するため、「人」をまちの最大の財産ととらえ、それぞれの施設の特長や専門性を活かし、ライフステージの変化に応じた「学び、活動、交流」の場を提供します。子どもから高齢者まで、年齢、国籍、文化を問わず、幅広い人づくり支援機能の新たな展開を目指していきます。

3F 八幡西生涯学習総合センター

市民の自主的な活動を支援するため、会議室等の貸出、専門的なニーズに応える講座も開催しています。
●北九州ひとみらいプレイスの事務局を兼ねています。

3F 市民活動サポートセンター

NPO・市民活動に関する相談受付、情報提供や各種講座・講演会の開催など、市民活動団体に対する様々な支援を行います。

3F 美術館黒崎市民ギャラリー

芸術文化の振興を図るために、市民の発表の場としてご利用いただけます。

3F 北九州国際交流協会

外国人市民への支援と日本語教育の推進、日本人市民との相互理解を深めるための活動を行っています。

3F 放送大学北九州サテライトスペース

通信制の大学です。授業は300科目以上の中から選択し、インターネット・BS放送等で自由に学べます。

7F 子どもの館

「安心・安全・快適」に子どもやファミリーが楽しめる遊び場、子育て中の親を支援する場などを提供しています。

「未来をひらく人づくり」を目指しています。

ひとみらいプレイス

2F 九州国際大学地域連携センター

大学を中心にその英知を地域社会に開放するとともに、人づくりに貢献し、地域づくりに寄与します。

2F 若者ワークプラザ 北九州・黒崎

若年者の就業支援を目的として、就職相談、就職活動に役立つセミナー情報の提供を行っています。

B1F ユースステーション

中・高校生をはじめとする若者が、学習や体験、仲間との交流を通じて、社会性や自立性を身につける場です。

B1F くろさき少年支援室

小・中学生等や保護者、学校、関係機関などから不登校・いじめ・進路・非行等の相談を受け、学習や集団活動などを通して子どもの学校復帰や社会的な自立につなげていく通所施設です。



東アジア文化都市
北九州 2020-21
CULTURE CITY OF EAST ASIA IN KITAKYUSHU